

第1回やまなしKAITEKI住宅普及促進部会 会議録

2025/7/17 16:00~18:00

出席者

一般社団法人山梨県建築士会	秋山 洋一
甲斐縁隊	早川 勝
一般社団法人自然エネルギー普及協会	平賀 正
一般社団法人山梨県木造住宅協会	中村 伊伯
一般社団法人山梨県木造住宅協会	遠藤 千春
山梨住宅ナビ	塩谷 英之
楽住/RAKUSU	卜部 良太郎
公益社団法人山梨県建設技術センター	小川 裕之
公益社団法人山梨県建設技術センター	福島 順子
オ YKK AP株式会社	川崎 雅仁
オ YKK AP株式会社	伊早坂 健二
オ 山梨県産材普及協会	横内 友子
オ 県林業振興課	
県建築住宅課	

部会員からの意見・質問等		現時点の県の考え等
1	ポータルサイトにおける登録業者（プランナー・ビルダー）のフィルタリング機能として想定するユーザー評価は、誰でも評価できるかたちなのか、それとも契約した施主に限るのか。	フィルタリング機能のあり方は今後検討していくが、仮にユーザー評価を導入する場合は、やまなしKAITEKI住宅の認定を取得した住宅の施主が評価する仕組みを想定している。
2	登録業者による建築事例の投稿は、気軽に投稿できることや、一方でフォーマット化するなど一定の質を保つこと、また、広報が強い業者に偏らないよう配慮することなどを検討すべき。	ポータルサイトとSNSでそれぞれ求める質を分けるなど対応を検討していきたい。また、広報が弱い業者をどう支援できるかも検討していきたい。【今後の検討課題】
3	KAITEKI住宅の認定取得を証明する記念プレート等にQRコードを付し、定期点検や住宅履歴保管サービスとセットで提供できるとよい。また、住宅履歴保管サービスは登録（入力）の手間がかかるため、竣工時・点検時に登録（入力）を請け負うBtoBサービスも考えられる。	意見を踏まえて検討していきたい。【今後の検討課題】
4	設計のセカンドオピニオン制度については、設計はそもそもエンドユーザーと長い時間をかけて対話をしながらプランニングするため、その設計完了後にセカンドオピニオンを実施するとして、同じような対話の時間がかけられないのであれば確かなアドバイスは難しいのではないかと。むしろ、設計の初期段階に設計者とアドバイザー（中立性は担保しながら）が同席し、アドバイザーは性能の観点に絞ってアドバイスするような制度にすべき。	意見を踏まえて検討していきたい。【今後の検討課題】
5	事業者支援に関して、サポーター（プランナー・ビルダー・パートナー）が自発的に研修会などを開催する際に、全サポーターに参加を呼びかけられるようメーリングリストなどを用意すべき。	意見を踏まえて検討していきたい。【今後の検討課題】